大阪城
2021 7/1 (木) 14178号
全港湾 西成分会
ごんわ 6647-4947

7月に入った。ジワジワ熱くなってきている。セミの鳴き声が聞こえたりして、30度をこす日がふえてきそうである。アメリカの北西部シアトルあたりでは40度を超す熱波がおそい、山火事やチバつが心配されているという。

水分補給をして熱中症に気をつける季節に入った。その上にコロナで、変異株とかで、どんどんコロナウイルスも、強烈なものに変化していっているという。そして、東京では、7/23(金)～8/8(日)までオリンピック、パラリンピックが8/24(火)～9/5(日)までコロナウイルス蔓延の中、突入するという。キラブレーキはきかないようにみえる。

休日が変化している。オリンピック前日の7/22(木)が海の日(7/19)が移動して7/22休み。当日7/23(金)はスポーツの日(10/11)が7/23に移動して7/23は休み。4連休になる。オリンピック最終日8/8(日)閉会式に山の日(8/11)を移動し、9日(月)を振替休日にして、3連休としている。しかし、アメリカのバイデンは東京には来ないという。78歳のトップを危険にさらすほどアメリカもバカではないだろう。7/4(日)東京都議選の結果がでる。日本の一番熱い夏がはじまっている。

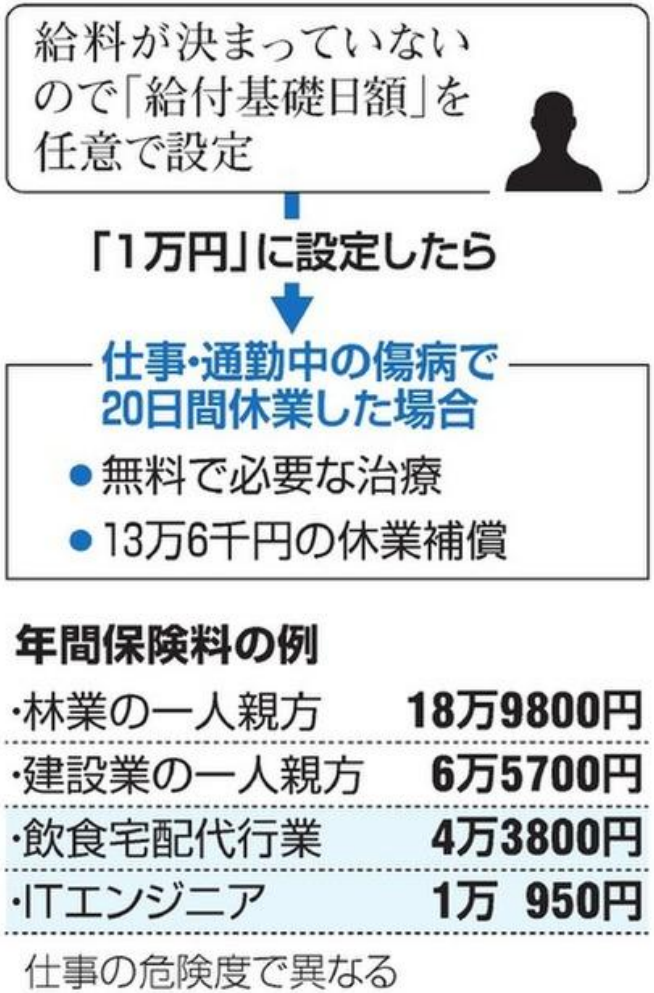
「ウーバー」配達員、9月から自己負担で労災加入可能に

フリーランスの働き手が労災保険に特別加入できる制度について、厚生労働省は18日、宅配代行業とITエンジニアを9月から対象に加えることを決めた。ウーバーイーツなどの配達員も対象になるが、加入は任意で、働き手が自ら保険料を負担するため、利用が広がらない可能性もある。

18日、厚労省の労働政策審議会で了承された。

労災保険は本来、雇われる労働者が仕事・勤務中にけがや病気を負ったときの治療費などを給付する制度で、雇い主が保険料を払う。ただ事故に遭いやすい業種を中心にフリーランスの特別加入も認めてきた。今年4月からは、芸能従事者、アニメーター、柔道整復師の3業種が加わった。

フリーの働き手は定まった給料がない。そこで特別加入では、働き手があらかじめ3500～2万5千円の範囲で「給付基礎日額」を設定し、保険料はこれに乗じる保険料率で決まる。保険料率は仕事の危険度によって違い、宅配代行業は1・2%、ITエンジニアは0・3%となった。宅配代行業で給付日額を1万円とした場合、払い込む年間保険料は4万3800円になる。給付日額を低く設定すると、保険料や給付額も低くなる。朝日新聞 6月19日



労災保険は本来会社(事業主)が負担すべきものでなんかおかしい話になっていると思う。